

企業にエコノミー 地球にエコロジー

みんなでカーボンニュートラル

～取り組み事例を紹介します～

省エネ診断 Vol.6

カーボンニュートラルへの第一歩は、「CO₂排出量の見える化」から。
エネルギー使用状況を診断して現状を把握しよう。



ウチの会社でもできるの？



まずは現状把握！
省エネ診断を外部に依頼することで、
詳細な診断結果と専門的な
アドバイスも受けられます。

千曲精密工業

株式会社
本社工場

浜松市浜北区尾野

診断
結果

エネルギー削減
ポテンシャル

年間削減金額

4,351,000円/年

年間CO₂削減量

98.3t-CO₂/年

CO₂削減割合

10.7%

※診断日 2022年10月25日

診断者／

一般財団法人省エネルギーセンター
エネルギー使用合理化専門員

診断メニュー／省エネ最適化診断

診断料金／16,500円(税込)

省エネ改善提案

投資
0円

1 エア漏れの削減 2 昼休みの工場内天井照明の消灯

投資
あり

3 空気比の適正化 4 吐出圧力の削減 5 蒸気配管の保温

6 焼純炉バーナーの空気余熱 7 太陽光発電設備導入自家消費 8 変圧器の更新

9 事務所照明のLED灯への更新 10 モーターのインバータ化

3～5については投資回収期間5年以下。6～10については5年超

現状把握のために利用

カーボンニュートラルへの対応に向けて、まずは当社の現状を把握するために診断を受けました。太陽光発電設備導入については、今期中の実施を目指しています。



空気配管のエア漏れチェック光景。エア漏れの削減はコンプレッサの使用電力低減に直結するため、大きな費用対効果が期待できる

省エネ診断を受けて

費用対効果の大きいものから優先的に

その他に関しては頂いた「改善提案」の中でも費用対効果の大きい1・4・5・8・9に取り組んでいきます。特に1のエア漏れについては製造部門全体で共有すべき課題だと改めて認識。今後は各項目で定期的なモニタリングにより効果を検証し、アプローチ方法の見直しを図ります。また、こうした省エネ活動は、対外的なPRにも活用していく予定です。



配管の保温が不十分と指摘されたボイラー。今後は保温カバーを用いて補修を行い、放射熱量を減らすことでボイラーの燃料消費量の削減を図る

事業所 PROFILE

1956年創業の冷間鍛造部品・精密加工部品メーカー。「良い品質・安い原価・タイムリーな納期」をモットーに、サスペンション部品、トランスミッション部品、ブレーキ部品などの自動車部品を提供。従業員数162人



同社では市内3カ所に工場を有し、うち2工場では既に照明のLED化が完了している

自分の会社の省エネ診断してみませんか？

問合せ

浜松商工会議所 工業振興課 TEL 053-452-1116
商業観光課 TEL 053-452-1114

FAX 053-459-3535

取材協力をお願いします。
詳しくはこちら

省エネ診断紹介事業 浜松

